



# 関東学院大学

◆ リリースに関するお問合せ先 ◆  
2015年 11月 30日  
関東学院大学 広報室  
TEL:045-786-7049

国土交通省実証実験プロジェクトに関東学院大学の学生 50 名が参加  
－ 津波発生時の迅速な避難のために、どのような標識が必要か －  
12月6日、横須賀市久里浜で実証実験を実施

関東学院大学（本部：横浜市金沢区 学長：規矩大義）の学生 50 名が、津波発生時の効果的な避難経路設定などのために 12 月 6 日に神奈川県横須賀市で国土交通省が中心になって実施する実証実験プロジェクトに参加します。

同プロジェクトは、「標識の設置がどれだけ避難行動に影響するか」を検証するもので、参加者の行動を準天頂衛星で計測し、効果的な避難情報の提供方法を検討するために行われます。当日は参加者たちが、標識を設置した場合と設置しない場合の 2 組に分れて、避難場所となる高台を目指して約 2km の道のりを歩きます。

## プロジェクト詳細

プロジェクト名：津波災害情報の効果的な提供のためのプッシュ型情報提供の仕組みと準天頂衛星の活用システム構築プロジェクト

概要：津波の避難経路に「標識を設置することで、どれだけ避難行動に影響を与えるかを検証する。具体的には避難先となる高台までの経路上の分岐点に「標識」を設置した場合と設置しない場合の差異について、準天頂衛星を用いて計測し、その結果を分析することで、より有効な「標識（情報提供方法）」のあり様を検証。

プロジェクト構成員：国土交通省国土交通政策研究所、JAXA、アジア防災センター、沖電気、IBM、信号機材、マイスター、ロードサービス、横須賀市

実証実験日：12月6日（日）小雨決行（予備日 12月13日（日））

実験場所：神奈川県横須賀市久里浜 7、8 丁目および神明町付近

ペリー公園からくりはま花の国への避難

集合場所：久里浜行政センター（横須賀市久里浜 6-14-2）

京急久里浜駅から徒歩 10 分、JR 久里浜駅から徒歩 13 分

スケジュール：【午前の部】

10:00～ 受付（久里浜行政センター）

10:15～ 実証実験の説明

10:30～12:00 実証実験（約 2 km の道のりを歩きます）

12:00～12:30 アンケート記入、終了

【午後の部】

12:30～ 受付（久里浜行政センター）

12:45～ 実証実験の説明

13:00～14:30 実証実験（内容は午前の部と同じです）

14:30～15:00 アンケート記入、終了

## 取材等に関わるお問合せ先

関東学院大学 広報室 鈴木敦 TEL.045-786-7049

横浜市金沢区六浦東 1-50-1 kouhou@kanto-gakuin.ac.jp